



Nomura Research Institute

2024 年 5 月 16 日

株式会社野村総合研究所

## NRI グループ、SBT イニシアチブより

### 「ネットゼロ目標」の認定を取得

～2050 年度までに、バリューチェーン全体で温室効果ガス排出量をネットゼロに～

株式会社野村総合研究所（以下「NRI」）は、NRI グループが、国際的な環境イニシアチブである「Science Based Targets initiative（SBT イニシアチブ）<sup>1</sup>」から温室効果ガス排出量「ネットゼロ目標」の認定を取得したことをお知らせします。



SCIENCE  
BASED  
TARGETS

DRIVING AMBITIOUS CORPORATE CLIMATE ACTION



NRI グループは、2050 年度における Scope1+2+3（自社のみならず、サプライチェーンを含めた「バリューチェーン」全体）の温室効果ガス排出量<sup>2</sup>を、ネットゼロ<sup>3</sup>とする目標を公表しています。この度、当該目標が SBT イニシアチブの「ネットゼロ基準<sup>4</sup>」に合致している目標であるとして、2024 年 2 月に SBT イニシアチブのネットゼロ目標の認定を取得しました。また、従来認定されていた 2030 年度までの温室効果ガス排出量削減目標についても削減率を引き上げ、SBT イニシアチブの最新基準に合致した目標として認定を取得しました。NRI グループが掲げる目標の詳細は下表の通りです。

表：SBT イニシアチブの認定を取得した NRI グループの環境目標

時間軸	NRI グループの温室効果ガス排出量	
	Scope1+2	Scope3
短期目標 (1.5°C水準)	2030 年度までに 97%削減 (2019 年度比)	2030 年度までに 30%削減 (2019 年度比)
長期目標 (1.5°C水準)	2050 年度までに最低でも 97%削減を維持 (2019 年度比)	2050 年度までに 90%削減 (2019 年度比)
ネットゼロ目標	2050 年度までにバリューチェーン全体でネットゼロ*を達成 *Scope1+2+3 排出量を 92%削減 (2019 年度比)、残余排出量 <sup>5</sup> は中和化 <sup>6</sup>	

NRI グループでは上記目標の実現に向けて、データセンターをはじめとした各拠点における再エネ調達  
の高度化やエネルギー消費の最適化、Scope3 排出量削減に向けたビジネスパートナー各社との協働を引  
き続き推進していきます。これらの取り組みを含む、ネットゼロ達成に向けた低炭素移行計画と排出量  
削減実績に関する詳細は、次の URL をご参照ください。

<https://www.nri.com/jp/sustainability/environment/data>

NRI グループはこれからも、コーポレート・ステートメント「Dream up the future. 未来創発」のもと、  
気候変動をはじめとした環境・社会課題に対し、さまざまなステークホルダーの皆様と共に新たな価値  
を創造し、サステナブルな社会の創出に貢献していきます。

<sup>1</sup> SBT イニシアチブ：産業革命前からの気温上昇を 2°C未満に抑えるため、企業による科学的根拠に基づいた温室効果ガス  
の排出削減目標達成を推進することを目的として、気候変動対策に関する情報開示を推進する機関投資家の連合体である  
CDP、国連グローバル・コンパクト (UNGC)、世界資源研究所 (WRI)、世界自然保護基金 (WWF) の 4 団体により  
設立されたイニシアチブ。詳細は次の URL をご参照ください。 <https://sciencebasedtargets.org/>

<sup>2</sup> Scope とは企業による温室効果ガス排出量の算定・報告の対象範囲のこと。

Scope 1：燃料の燃焼など当社グループからの直接排出。

Scope 2：他社から供給された電気などの使用に伴う間接排出。

Scope 3：Scope 1,2 以外の温室効果ガスの間接排出。購入した製品・サービス、従業員の通勤、出張など。

<sup>3</sup> ネットゼロ：人為的な温室効果ガス排出量と除去量のバランスが取れており、大気中への温室効果ガス排出量が正味ゼロ  
の状態のこと。

<sup>4</sup> ネットゼロ基準：産業革命前からの気温上昇を 1.5°C以内に抑え、2050 年までのネットゼロを達成する目標を設定するた  
めの、標準化された基準。SBT イニシアチブが 2021 年 10 月に公表した。

<sup>5</sup> 残余排出量：ネットゼロ目標の時点で自社グループのサプライチェーン内で削減できない排出量のこと。

<sup>6</sup> 中和化：サプライチェーンの外で、炭素除去技術などを活用し残余排出量を相殺すること。

**【お知らせに関するお問い合わせ】**

株式会社野村総合研究所 コーポレートコミュニケーション部 玉岡  
TEL : 03-5877-7100 E-mail : kouhou@nri.co.jp

**【本件に関するお問い合わせ】**

株式会社野村総合研究所 サステナビリティ推進部 伊吹、高橋、中尾  
E-mail : 41sustainability@nri.co.jp

**【ご参考】**

■NRI グループのサステナビリティに関する取り組み

- 環境目標・低炭素移行計画 <https://www.nri.com/jp/sustainability/environment/data>
- 統合レポート <https://ir.nri.com/jp/ir/library/report.html>
- ESG データブック [https://www.nri.com/jp/sustainability/library/back\\_number](https://www.nri.com/jp/sustainability/library/back_number)
- サステナビリティブック [https://www.nri.com/jp/sustainability/library/back\\_number](https://www.nri.com/jp/sustainability/library/back_number)